

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	○思いや意向の把握	お客様の思い、意向に沿ったケアができるように、お客様の表情や仕草などを読み取り、意思をくみ取る事を行い、ご本人の意向に沿ったケアの実践に務める。	職員の配置等を見直し、傾聴できる体制の構築を図り、再度、お客様のアセスの共有を行い個々にあったケアの見直しと実践をおこなっていく。	6ヶ月
2	31	○看護職との協働	お客様の些細な変化を見逃さず、適切な看護や処置を受ける事ができる環境。	日々の健康管理にプラスα、変化等に気づける職員の意識向上と、他職員との情報共有を行い、日々の状態の変化を職員で共有する。	3ヶ月
3	34	○急変や事故発生時の備え	急変時に備えて、全職員が迅速に対応ができるようにする。	研修を定期的実施しているが、経験値がない分、事案発生時にはパニックになってしまう事がある。机上研修のみでなく、消防訓練の様な実践に沿った研修を企画し、有事時に対応できるようにする。	3ヶ月
4	46	○安眠や休息の支援	日中にレクリエーションや臥床時間を設け、個々に合わせた支援を行ってゆく。	日中に傾眠し夜間安眠できないお客様もいるので、昼夜逆転しないよう日中に活動をして頂き、リズムのある生活をして頂く。	3ヶ月
5	49	○日常的な外出支援	希望に沿った馴染みの場所などへ外出できるようにし支援をする。	頻繁に実施する事は無理だが、定期的に企画を行い、一定周期で外出出来るように人員の配置を行い実践を行ってゆく。	3ヶ月